



# 横尾中だより

校訓「自立」 〈学校スローガン No Challenge, No Chance〉

R5. 5. 1  
第7号

発行者  
長崎市立横尾中学校  
校長 小浦 末浩

## 県教委研究指定に関連して

本校は、令和4・5年度長崎県教育委員会公募制研究指定校を受けており、昨年度から「自分と地域の未来のために、自ら行動できる生徒の育成」という研究主題を掲げ、実践研究に取り組んでいるところです。取り組んでいる内容は、本校の特徴である「地域連携」「外大連携」を進めながら、生徒の社会性の育成、学力向上の2つを目指しています。

昨年度は、公園リ・ニューアル事業に全校生徒でアンケートで協力したり、現2年生はワークショップをしたり、公園リ・ニューアルについて中学生なりの提案をしたところです。その他にも地域行事への参加、外大への施設見学などの連携を進めてきました。その結果、生徒の意識調査「地域や社会のために考える」「失敗を恐れず行動する」「自分と違う意見について考える」「家で計画をたてて勉強する」について、実践前と比較し、改善がみられました。また、県平均・全国平均に比べても高い値を示している項目もあり、本校の取組は一定の成果があることがわかりました。

今年度は更に研究の進化を図りたいと考えています。その第1弾として、4月28日（金）の午後に、2つのことに取り組みました。

## ☆ 地域の達人講話1 ☆

今年度で3年目になります。長崎外国語大学との年度初めの行事として、長崎外国語大学の先生をお招きし、「横尾から世界を知ろう!」という共通テーマで講演会を開催しています。今年度は、「SDG'sからみた東南アジア」という内容で小鳥居伸介教授にお話をいただきました。生徒にはお礼状を兼ねた感想文を、

「校長先生からの宿題」として出しておりますので、そのうちに、この学校だよりでご紹介したいと考えています。



## ☆ 地域ボランティア説明会 ☆

これも「地域」が頭についており、地域に関することになります。上にも書きましたように、横尾地区はご存知のとおり、地域行事が活発に行われています。中学生にとって「思い出づくり」になったり、地域貢献する場になったりしています。このことで、地域を愛する心や郷土を愛する心の育成にもつながっていくと考えております。部活動生徒の一部二役で地域行事へ参加してきましたが、生徒数も少なくなり、対応できなくなってきました。そこで、全校生徒で地域行事へ参加するために「地域ボランティア」の説明会を開催し、横尾まつり等の見学だけでもよいので、全校生徒、必ずどれかの地域行事に参加しようと、希望調査をとる場を設定しました。

地域ボランティア説明会では、昨年度、参加した生徒が参加した感想を述べるなど、参加することによって、いろいろなことを感じたり、考えたり、またその背景に地域の方々の協力があることを感じ取っていた生徒もおりました。子どもたちの成長の場になっていることを改めて確信したところです。



## 除草作業は中止

「地域ボランティア」の1つに、5月6日（土）の除草作業を加えておりましたが、雨天が予想されておりますので、中止とします。

ただし、5月3日（水）に、育成協の方々が機械で除草作業をしていただくことになりました。この日は、本校でサッカーの試合が行われることになっており、駐車場の問題もあり、活動が制限されます。車の出入りが多く、安全面を考慮して、3日についても少人数でやっていただくことになりました。お知らせしておきます。

